

22NDSポンプ軸受の再生に関する報告書

22NDSポンプ： 摩耗で廃却された軸受が 稼働に復帰

キーウヴォドカナル公営事業体 ドニプロ浄水場 ・ 承認：浄水場技師長V.A.コスチューク／発注者側：ポンプ場長A.N.フルサ、機械設備保全部門長A.I.ラチェンコ／作業実施：XADO-Kyiv閉鎖株式会社

キーウ（ウクライナ） ・ 処理：2000年10月5日・報告書：2001年3月5日・観察下での5か月間の稼働

製品

XADO RVS

XADO技術の補修・再生剤

処理対象機

22NDS水ポンプ

複列自動調心ころ軸受、形式3542

文書の種類

軸受の再生に関する報告書
浄水場の署名・押印付き

対象機

22NDS水ポンプ、軸受形式3542

作業開始時の状態

寿命到達により使用不能として取り外し済み。グリース：Litol

記録内容

軸受の運転温度・騒音、過熱のない稼働

軸受交換は行わず、XADO RVSで処理したうえでポンプに戻した。

主要な結果

↑ 5か月

過熱を伴わない軸受の通常稼働、2000年10月5日 → 2001年3月5日

摩耗により廃却された軸受の復旧

ポンプ軸受の処理前後

パラメータ	処理前	処理後
軸受の稼働可否	寿命到達、軸受をポンプから取り外し	XADO RVSで再生し、稼働に復帰
運転温度・騒音	異常	ポンプ運転 5 時間以内に回復
その後の稼働	交換対象	過熱なしで 5 か月間の通常稼働

運転温度・騒音はポンプの稼働実績により評価した。報告書には計測器による温度・騒音の測定値は記載されていない。

報告書の結論

キーウヴォドカナル公営事業体 ドニプロ浄水場は、報告書に次のとおり記録している。「XADO処理剤による軸受の処理後、ポンプ運転5時間以内に運転温度・騒音が回復した。現在に至るまで、上記の軸受は通常運転において過熱することなく稼働している」。対象は形式3542の複列自動調心ころ軸受で、以前に寿命到達により使用不能として取り外されていたものである。使用不能と判定され交換対象となっていた軸受が稼働に復帰し、報告書の署名日までに**5**か月間、通常稼働した。ポンプ場にとっては、軸受交換を行わずに済み、対象機が稼働を続けたことになる。

XADO

© XADO. 無断転載を禁じる。

本結果は、ドニプロ浄水場の条件下における22NDS水ポンプの形式3542ころ軸受に関するものであり、他の部位や運転条件では測定値が異なる場合がある。署名・押印のある報告書の原本は全文を公開しており、ダウンロードできる。RVSはXADOの旧称で、第0世代の製品である。現行世代の製品はリバイタリザント（摩擦面再生剤）である。